

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	舞台進行・舞台製作講座		授業形態 / 必・選	講義	必修
			年次	2 年次	
授業時間	90分（1単位時間45分）	年間授業数	82回（164単位時間）	年間単位数	10単位
科目設置学科コース	≪音楽芸能スタッフ科≫ 舞台製作コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 ☒ 非該当 ☐				
担当講師 実務経歴	実務経験：35年 舞台監督会社を経て、国内アーティストのツアーを手掛けている舞台監督。				
授業概要					
事前準備、念入りな作業等、舞台監督に必要とされる全ての知識の学習。					
到達目標					
舞台監督としての現場での判断力、本番時のスムーズな進行のノウハウの習得。					

授業計画・内容	
【前期】 1～10回目	進行表の作り方 ・各セッションがスムーズに進行できるように全体を考慮した資料作成 ・イベントタイトル
【前期】 11～20回目	進行表の作り方 ・日時 ・内容
【前期】 21～30回目	進行表の作り方 ・会場打合せ ・消防申請
【前期】 31～40回目	進行表の作り方 ・リハーサルまでの進行・準備物 ・ゲネプロの進行・準備物
【後期】 41～48回目	ツアーの動き ・トランスポートへの積み込み ・搬入順番 ・仕込み作業順
【後期】 49～56回目	ツアーの動き ・バトン昇降時の注意点 ・音出し時の注意点 ・シュート時の注意点
【後期】 57～64回目	ツアーの動き ・トランスポートへの積み込み ・各導線の確保
【後期】 65～74回目	ツアーの動き ・撤収時の流れ（バラウチ） ・ステージハンドの振り分け～使い方
【後期】 75～82回目	ツアーの動き ・冷静な判断力・決断力を養う ・より多くの現場に参加して「実践」で学習する。
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）
学生へのメッセージ	支給iPad持参
使用教科書	オリジナルPDFテキスト

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	舞台制作実習Ⅱ-A		授業形態 / 必・選	実習		必修		
			年次	2 年次				
授業時間	90分（1単位時間45分）	年間授業数	84回（168単位時間）	年間単位数	5 単位			
科目設置学科コース	≪音楽芸能スタッフ科≫ 舞台製作コース							
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目						該当 ☒	非該当 ☐
担当講師 実務経歴	実務経験：32年 大道具会社～舞台監督会社を経て、現在海外アーティストを含む数多くのアーティストの全国ツアーを手掛け ている舞台監督。							
授業概要								
学外ホールの舞台躯体を使用し本来のコンサート・ライブ環境で実習 トラスの昇降や吊物の各種取扱い方法について学ぶ。								
到達目標								
学外ホールの舞台躯体を使用し本来のコンサート・ライブ環境で実習 トラスの昇降や吊物の各種取扱い方法について学ぶ。								

授業計画・内容	
【前期】 1～10回目	吊り物 ・吊り物の仕込み方 ・振り落とし、舞台演出の効果と仕込み方
【前期】 11～15回目	吊り物 ・ロープ／ワイヤーの結び方
【前期】 15～26回目	トラス関係 ・トラスの組み方 ・スリングの掛け方（チョーク／ブライダル等）
【前期】 27～40回目	トラス関係 ・トラスの組み方 ・平台を併用した舞台設営
【後期】 41～48回目	鉄骨部材の扱い方-足場組 ・9X9Dr,台の組み方（含む6X9へのアレンジ） ・OC用6X9Dr,台の組み方
【後期】 49～56回目	平台組 ・3X6／3X3／1.5X3での台組アレンジ
【後期】 57～64回目	ライブ実習使用製作物の仮組み ・各外部ホール会場に合わせた仕込み方
【後期】 65～74回目	バトン操作 ・操作実習（外部ホール）
【後期】 75～84回目	ライブ実習 ・事前準備、搬入、仕込み、進行、撤去、撤去（外部ホール）
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）
学生へのメッセージ	スタッフとして相応しい格好（スニーカー・黒ズボン・黒Tシャツ/トレーナー） 支給iPad・必要工具（LEDライト・ビニールテープ・マジック類）クリップボード持参
使用教科書	オリジナルPDFテキスト

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	舞台制作実習Ⅱ-B		授業形態 / 必・選	実習	必修
			年次	2 年次	
授業時間	90分（1単位時間45分）	年間授業数	84回（168単位時間）	年間単位数	5 単位
科目設置学科コース	≪音楽芸能スタッフ科≫ 舞台製作コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 ☒ 非該当 ☐				
担当講師 実務経歴	実務経験：32年 大道具会社～舞台監督会社を経て、現在海外アーティストを含む数多くのアーティストの全国ツアーを手掛けている舞台監督。				
授業概要					
舞台業界標準となっている図面アプリケーション『Vector works』の利点と操作方法を学ぶ。					
到達目標					
迅速に舞台図面を作成・修正対応できる技術の修得。 企画ライブの舞台図（平面図・立面図・断面図）を3Dで作成出来る技術の修得。					

授業計画・内容	
【前期】 1～10回目	PCソフト『Vector works』（2D基本編） ・各自思い思いの絵を描いてツールを使う練習 ・線のひき方 ・テキストの入れ方
【前期】 11～20回目	PCソフト『Vector works』（2D基本編） ・ツールを使用してシンボルを作成 ・縮尺について ・寸法の割り出し
【前期】 21～30回目	PCソフト『Vector works』（2D基本編） ・用紙設定について ・グリッドの設定について ・配列複製について ・原点指示について
【前期】 31～40回目	PCソフト『Vector works』（2D基本編） ・整列・画面登録 ・見本に合わせて仕込み図を作成 ・図面の取り込み・トレース ・課題製作
【後期】 41～48回目	PCソフト『Vector works』（3D応用編） ・シンボル図形のテンプレート化 ・ハイブリッドシンボルの登録 ・文字列、プラグインオブジェクトについて ・グループ図形、ワークシートの作成
【後期】 49～56回目	PCソフト『Vector works』（3D応用編） ・シートレイヤー ・各ホール図面（3D）の作成 ・各シンボルを使用して3D図面の作成
【後期】 57～64回目	PCソフト『Vector works』（3D応用編） ・応用 [舞台図面（平面図・正面図・側面図・読み方・書き方）] ・応用 [図面から劇場毎の違いを読み取る]
【後期】 65～72回目	PCソフト『Vector works』（3D応用編） ・応用 [テーマを元に複数の劇場毎に図面を落とし込む] ・応用 [図面からアリーナ・劇場の違いを読み取る]
【後期】 73～84回目	PCソフト『Vector works』（3D応用編） ・応用 [テーマを元に複数の劇場・アリーナ毎に図面を落とし込む] ・ツアー（ホール）における図面の描き方 ・ツアー（アリーナ）における図面の描き方
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）
学生へのメッセージ	支給i-Pad持参
使用教科書	オリジナルPDFテキスト

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	大道具実習 A		授業形態 / 必・選	実習	必修
			年次	2 年次	
授業時間	90分（1単位時間45分）	年間授業数	80回（160単位時間）	年間単位数	5 単位
科目設置学科コース	≪音楽芸能スタッフ科≫ 舞台製作コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 ☒ 非該当 ☐				
担当講師 実務経歴	実務経験：37年 大道具会社を経て現在国内アーティストのドームツアーを手掛けている大道具スタッフ				
授業概要					
木工道具・電動工具の扱い方について学ぶ。 危険が伴うので、慌てず急がず反復練習を行う。					
到達目標					
ミリ単位で製作する高度な技術の習得。					

授業計画・内容	
【前期】 1～10回目	基本工具説明、レベル確認
【前期】 11～20回目	木工道具を使用した大道具作成 ・ナグリ ・巻尺 ・糸鋸
【前期】 21～30回目	・釘、タッピングネジ
【前期】 31～40回目	電動工具を使用した大道具作成 ・インパクトドリル ・丸鋸 ・ジグソー
【後期】 41～48回目	・サンダー・ボール盤 ・エアーコンプレッサー
【後期】 49～56回目	・リノリウム敷き込みの練習 ・リノテープ（弱粘着ビニールテープ）を使用してのリノリウム貼り
【後期】 57～64回目	・リノリウム巻の練習（10908×1818Size）
【後期】 65～72回目	・9×9山台作成（平台・箱馬使用）
【後期】 73～80回目	・3×6パネル吊り込み
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）
学生へのメッセージ	スタッフとして相応しい格好（スニーカー・黒ズボン・黒Tシャツ/トレーナー） 支給iPad・必要工具（LEDライト・ビニールテープ・マジック類）クリップボード持参
使用教科書	オリジナルPDFテキスト

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	大道具実習B		授業形態 / 必・選	実習	必修					
			年次	2年次						
授業時間	90分（1単位時間45分）	年間授業数	80回（160単位時間）	年間単位数	5単位					
科目設置学科コース	≪音楽芸能スタッフ科≫ 舞台製作コース									
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 ☒ 非該当 ☐									
担当講師 実務経歴	実務経験：37年 大道具会社を経て現在国内アーティストのドームツアーを手掛けている大道具スタッフ									
授業概要										
「企画イベント」の大道具の作成 イベントパネル・小道具・持ち出し道具の作成										
到達目標										
完成度の高い技術力の習得										

授業計画・内容	
【前期】 1～10回目	各自「箱馬」の作成
【前期】 11～20回目	クラスで「平台」（3×6Size）の作成
【前期】 21～30回目	企画イベント①の 準備・製作
【前期】 31～40回目	スチールライザーの組み方
【後期】 41～48回目	アルミトラス（300角）を使用したパネルの組込み
【後期】 49～56回目	企画イベント②の 準備・製作
【後期】 57～64回目	吊り看板のセットアップ方法
【後期】 65～72回目	企画イベント③の 準備・製作
【後期】 73～80回目	ホールにて 大黒幕・紗幕・引割幕・ジョーゼット幕の吊り方
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）
学生へのメッセージ	スタッフとして相応しい格好（スニーカー・黒ズボン・黒Tシャツ/トレーナー） 支給iPad・必要工具（LEDライト・ビニールテープ・マジック類）クリップボード持参
使用教科書	オリジナルPDFテキスト

専門学校E S P エンタテインメント東京

授業科目名	舞台製作実地演習Ⅱ		授業形態 / 必・選	演習		必修								
			年次	2 年次										
授業時間	180分（1単位時間45分）	年間授業数	9回（36単位時間）	年間単位数	2単位									
科目設置学科コース	≪音楽芸能スタッフ科≫ 舞台製作コース													
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 ☒ 非該当 ☐													
担当講師 実務経歴	各科目担当講師、及び研修先のご担当者様等。													
授業概要														
それぞれのイベント等において接客対応、現場における作業について研修を行う。														
到達目標														
現場における作業、流れ等のノウハウ習得。 イベント等を協力して作り上げることによるコミュニケーション能力の向上。 企画、立案、進行等、インプット・アウトプット能力の向上。														

授業計画・内容	
1～2回目	学生コンサート・ライブ実習①② 各セクションの作業内容、タイムテーブル、関連性を学ぶ
3～4回目	外部コンサート・ライブスタッフ研修 ①屋内会場 ②屋外会場
5～9回目	E S P 学園主催イベント①～⑤
評価方法	平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）
学生へのメッセージ	この演習を通じて、現場における流れや、他社とのコミュニケーションの仕方等確りと学んでください。
使用教科書	当日の役割分担表、業務要項等を配布